

まつもと みさお  
松本 節

《ひまわりと雲<sup>くも</sup>》 1937年 油彩・キャンバス 65.0×91.0cm



前景には石灯籠とうねるように描かれた植物。背景には屋敷の立派な門構えが見え、その後ろには入道雲がもくもくと湧き立っています。地平線を極端に低くとり、見上げるような大胆な構図で、ある夏の日の情景を描いています。しかし、そこには人の気配がなく、奇妙な静けさが漂っています。作家は真夏の晴れた昼下がりにもこのような一瞬を感じたのでしょうか。この作品からは時間が止まったような不思議な世界観が感じられます。

- 1915年 新潟に生まれる。
- 1920年 医師である父の開業に伴い、鎌倉に転居。
- 1929年 槐樹社展初入選。牧野虎雄の知遇を得る。
- 1936年 旺玄社展出品。社友に推挙される。
- 1944年 戦地のビスマルク諸島で没。享年 28。